

渋沢バスケットボールクラブ

令和7年度 活動要綱及び活動計画

令和6年度は、コロナ感染拡大がほぼ終息し活動制限がなく、例年通りの活動を実施できました。

令和7年度は、インフルエンザ感染が心配されるが、活気ある活動が出来る事を願い計画をいたしました。



shibusawa.jp - 36467871

- 1 ミニバスケの狙い
- 2 Good Minibas
- 3 渋沢バスケットクラブ活動指針
- 4 渋沢バスケットクラブ指導方針
- 5 選手の構成
- 6 指導者の組織及び担当
- 7 7年度 活動計画
- 8 6年度 活動報告
- 9 7年度 指導・活動方針
- 10 その他
- 11 7年度 重点指導方針

ミニバスケットボール『普及・育成』の狙い

ミニバスケットボールの合い言葉である『友情・ほほえみ・フェアプレー』の精神に則り、ミニバスケットボールを通して人間づくりをすることが最大の目的であることを認識し、子供がチーム所属して活動することでミニバスケットボールを楽しみ、生涯にわたってミニバスケットボールを好きになって欲しいと願っております。

みんなで『Goodよりよい Minibasミニバス』つくる

この心得は、子供達が一層ミニバスケットボールを楽しむために、プレイヤー、指導者、保護者、観客が一体となって環境を整えるルールです。それぞれの立場から、魅力あるミニバスケットボールの環境づくりへのご協力をお願いします。

プレイヤーのための5の心得

- (1) いつも全力を尽くそう
- (2) ルールや判定にしたがおう
- (3) 試合に関係する全ての人に感謝をしよう
- (4) よいマナーを心がけよう
- (5) 学習活動も一生懸命やろう

保護者のための5つの心得

- (1) よいマナーのお手本を示すみましょう
- (2) 子供達を励ましてあげましょう
- (3) 努力の大切さを教えてあげましょう
- (4) 批判は禁物、思いやりが大切です
- (5) 周囲を敬い、助け合いましょう

指導者のための5の心得

- (1) 敗戦はあなたの責任です
- (2) 体罰、言葉の暴力は禁物です
- (3) 子供の将来を考えた指導に心掛けましょう
- (4) 選手をたくさん褒めましょう
- (5) 審判のレベルアップに貢献しましょう

観客のための5つの心得

- (1) ミニバスを存分に楽しみましょう
- (2) 子供達の頑張りをお応援しましょう
- (3) 全てのプレイヤーのよいプレーに拍手を
- (4) 会場のマナーを守りましょう
- (5) 家族やお友達をたくさん誘いましょう

新チーム名称：渋沢バスケットボールクラブ(旧チーム名称：渋沢スポーツ少年団バスケット部)

渋沢バスケットボールクラブ URL：http://shibusawabasuke.sakura.ne.jp

2025/4/1 渋沢バスケットボールクラブ 総監督 萩原 大義

渋沢バスケットボールクラブ (旧渋沢スポーツ少年団バスケット部) 47年間の活動記録：SSB17z28z

3 渋沢バスケットボールクラブ活動指針

a. 魅力あるチームの構築

三者が一体となり魅力あるチームの構築とその周知推進

b. 選手の自主性（やる気）の尊重

練習、試合時スキル、精神面の向上を図り、選手にとって楽しい活動環境の創出

4. 渋沢バスケットボールクラブ指導方針

a. 【勝負より活動のプロセスを大事にする子供】

『試合に勝つことよりも、プレーが出来る楽しさを優先する』『勝負よりも多くの子供に試合を経験させる』と同時に『上手になりたい意欲』を大切に、熱心な活動と日々の努力、さらに試合時全力で挑戦するプロセスに価値と喜びが見いだせる子供を育成する。

日々の努力が結果を生む、努力がなければ好結果なし

b. 【子供らしい子供】

一人一人の子供の短所を指導するだけでなく長所を積極的に伸ばす指導、さらに『叱る指導』より『褒める指導』に心がける。『目に輝き』、『大きなかけ声』、『笑顔が』がコートある、疲れを知らず走り回るキビキビした動きのある子供に育成する。

いきいき人間、はつらつ人間

c. 【チームの一員としての自覚とチームプレーを大事にする子供】

ミニバスケットボールの試合は、8名以上の選手で構成され1名でも欠けると試合が成立しない。個人がチームの一員であることの役割と責任を自覚することが大切で努力しチームに貢献する心を持つ子供に

個人プレーからチームプレーへ

d. 【生涯スポーツを目指す子供】

『健康の素晴らしさ』『健康の尊さ』『日々の健康に感謝できる』子供になることを願い、活動を通じて『スポーツの素晴らしさ』『スポーツの楽しさ』を涵養させ基礎体力の向上を図りつつ、生涯スポーツを目指し最後までやり遂げる子供に育成する。

目指せ！！生涯スポーツを！！

5 選手の構成

学年	男子	女子	合計
1	0	0	0
2	1	0	1
3	2	0	2
4	1	2	3
5	2	0	2
6	4	0	4
合計	10	2	12

6 指導者の組織及び担当

区分	資格	氏名	電話	担当
指導者（総監督）	D,C,JNS	萩原大義	080-6807-0123	対外・事務事項
指導者（監督）	E,C	渡邊雅彦	090-9008-8247	指導・審判
指導者（A-J-チ）	D	相田美香	090-9018-0378	指導・審判
指導者（A-J-チ）	D	立花浩之	090-2915-9893	指導・審判
指導者（A-J-チ）	E	西出 暖		指導・審判

JBA認定J-チ資格→D：(全国大会まで) E：(関東大会まで) E2：(県大会まで)
C：Jシヨチ JNS：日本体育協会認定指導員

7 7年度 活動計画（別紙1）

8 6年度 活動報告（別紙2）

9 7年度 指導・活動方策

a. 【指導において、重視する事項】別紙3

- ・全員が最後までやり遂げさせるための指導をする
- ・叱る指導から褒める指導を徹底する
- ・一人一人の人間性を尊重し、礼節ある発言に努める指導をする
- ・練習の楽しさ、試合の面白さを高揚させる指導する
- ・正しいルール、正しい試合のやり方を指導する。
- ・チームワークの大切さを教え、チームの一員であることの自覚を指導する。
- ・スポーツ好きにさせ、生涯スポーツを目指す指導をする。
- ・練習、試合に対して真剣で熱心な姿勢を高揚させる指導する。
- ・活動において、安全と心身ともな健康管理を重視した指導をする。

b. 【後援会活動】

- ・父母のスポーツへの関心を高揚させ、主体的後援会活動を推進していただく
- ・生涯スポーツ化思想推進のため、父母が率先して活動に参加していただく
- ・元気に練習している姿、一心に練習や試合に打ち込んでいる姿を見ていただく
- ・指導者との関係を密にし意志疎通を図っていただき、活気ある活動を展開する

10 その他

- a. 練習・火 木 男女全員チーム練習【火は、男女4～6年19:00～20:30】
- ・土 男女 全員チーム練習
 - ・日 男女 全員チーム練習：2、4、5週(但し、5週はバレー部調整)
- b. 登録・女子/男子：秦野三連、バスケ協会U12部会北相支部、県バスケ協会U12部会、県バスケ協会、日本バスケ協会

11 7年度 重点指導方策（別紙3）

別紙3

11 R7年度重点指導方針

R7年度のスタートに当たり、R6年度以前の活動を振り返り、活動が試合毎進歩する内容を期待し、重点指導方法を作成した。

a.選手内面（心の強化）の育成

- ・選手1人1人が主体的、かつ積極的にプレーする心
- ・何時もおどおどせず堂々とプレーをする心
- ・失敗を恐れずチャレンジする心
- ・何事に動じない強い精神力を持つ心
- ・選手がスキルアップしようとする心

b.指導内容（確実な理解）推進

- ・指導内容の正しい理解（選手個々に異なる理解をしている）
- ・選手個々がスキルの理解（確実な球出、確実なパスとパス回し、確実なシュート、確実な速攻、確実にキャッチ等）
- ・積極的攻撃力アップの理解（速攻、フォメショウン、選手の位置や動き、スペースシュの作り方等）
- ・確実な守備力の理解（形、距離、プレッシャー、方向等）

c.ベンチワークの在り方

- ・最後まで最善を尽くし、諦めない采配
- ・選手が全力でプレー出来、満足感のある采配
- ・相手チームに対する尊敬の念を込めた采配
- ・選手の人格を尊重した掛け声采配
- ・品格と品位ある采配

d.実戦練習の強化

- ・スキルの修得とその実施を活かす方法
- ・実戦練習量増で試合勘を増進（ゲーム作の向上）
- ・基礎練習と実戦の相違を習得（オフ）
- ・実戦での自主性、主体性、意欲、工夫の意識アップ

e.指導方法の提言

(1) 試合時叱る指導から褒める指導（別紙4：怒らなくても必ず勝てる）

理由：・試合のたびごとに同様の指摘をされ、消極化防止
（試合時の指導が、理解され、実行されていない）

・試合時は、主体性、自主性、意欲を期待

(2) 1つ1つのプレーにおける技術内容の理解、使い方の向上

- 内容：・動け、パスで繋げ、ワンアーム、広がれ、ボードに当てろ等
・シュートのタイム

(3) 選手の自主性、意欲の向上

- 理由：・ボール取り合いの強化（デヘンス時、リバウンド時、球出し時等）
・相手主力選手へのデフェンス強化（ダブル対応の定着）

(4) ドリブルのスピード、アクセント、テクニックの定着化

f.将来のための対応

- ・ガードの育成
- ・ドリブル、パスで繋ぐ突進力の強化
- ・シュートの確実性の向上
- ・デフェンス力とオフェンス力の強化
- ・あらゆる場面での意欲向上

g.魅力あるチームとは、

- ・子供がこのチーム入りたい、父兄が入りたい
- ・楽しく自主的、主体的に最後までやり遂げる活力あるチーム環境である
- ・健康で明るく礼節ある子供に育て欲しいと、同時にチームを盛り上げる心を持つ環境である
- ・指導者がこのチームで指導したい
- ・健康管理、礼節、スキル等優れた活動である
- ・三者が協力し、チームを盛り上げ、発展させる活動である
- ・三者がチーム仲間を大切にし、チーム創りの活動である

h.魅力あるチーム方策

- ・移籍は、出す方、受ける方も余程の理由がないと拒否できない
- ・出す方：大きな痛手と仲間の失望は回り知れないことの認識保有
- ・受ける方：低学年から一生懸命に頑張ってきた選手の失望感の理解保有
- ・叱る指導から褒める指導への徹底した切り替え、やる気と自主性の強化
- ・試合時のベンチワークは、選手の自主性、主体性を期待し頑張らせる
- ・練習時に諸スキルはしっかり植え付け、そのスキルの意味を理解させる
- ・選手に序列をつけず父兄に心配・不安を与えない
- ・後援会、指導者の活動負担の軽減を図る